

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業概要			H25事業内容	H25活動目標(指標)		
パ	細						
1		本部町観光拠点形成事業	H24～H29				
1	①	花いっぱい運動の推進事業	H24～H28	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿いにプランターの設置や花の植え付けを行う。実施は、本部町観光協会へ委託する。植え付け作業は、町内の各種団体から成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	美化作業への参加者数:1,080人 プランター設置数:270個	美化作業への参加者数:1,080人 プランター設置数:270個	(今後の展開方針) 昨年度の実績を踏まえ、地域住民の意見を取り入れた、地域主導の取組みを図る
1	②	周遊観光実証調査事業	H24～H28	既存のタクシーを活用して、観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットの周遊観光及び、各観光スポットの観光ガイドや各種体験観光のサポートを行う人材の育成を行う。	周遊タクシーの試験稼働:3台 事業実施主体の組織立上:1団体	新たな周遊観光コースの創出:2コース	(今後の展開方針) 新たな実施主体(事務局)による事業の本格稼働
1	③	外国人対応観光人材育成事業	H24～H28	近年、外国からの観光客が増加してきており、外国人インバウンドを促進するためにもホテルや飲食店、土産物店などの観光業や商工業従事者などの関係者に対し、語学や郷土文化の研修等を実施し、外国人サービス向上を図る。	外国語講座の実施 講座開催数:年9回	観光人材の育成数:10名 (ホテルや商店街など観光の第一線でお客様に接するスタッフで語学研修を受講し、観光サービスにおいて最低限のコミュニケーション能力を習得した、外国人に対応する人材育成)	(今後の展開方針) 継続的に講座を行い更なるスキル向上に努める
1	④	本部半島ジオパーク推進事業	H24～H28	本町には、年間約300万人余りの観光客が訪れているにもかかわらず町内への十分な経済効果が得られていないのが現状である。また、1人でも多くの宿泊滞在者を増やすことが喫緊の課題である。そこで、本部半島特有の「熱帯カルスト地形」等をジオパークに登録することで地域振興を図る。	・ジオツアー等の企画・実施 ・パンフレット・ポスター等の作成 ・解説板設置 ・日本ジオパーク認定活動	ジオツアー参加者数:135人	(今後の展開方針) 更なる地域住民の理解を深めるとともに、関連団体との連携強化を図り、日本ジオパークの登録を目指す
1	⑤	ハブ咬傷防止事業	H25～H29	台湾ハブ捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブ捕獲器を町内約150カ所に設置	ハブ捕獲数年間:150匹	(今後の展開方針) 台湾ハブの分布状況の把握に努め、密集地帯の駆除を重点的にを行い、個体数及び生息域の抑制を図る。

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業概要			H25事業内容	H25活動目標(指標)		
パ	細						
1	⑥	本部町観光プラットフォーム構築事業	H25～H27	近年、観光客のニーズが多様化している中で、今後の観光推進を図るには、それらに対応した観光プラットフォームづくりが必要となる。そこで今回、本事業を本部町観光協会に委託し、観光コンテンツ開発・地域関連事業者との連携・販路開拓などを行う組織づくりを行う。	・事務局体制の構築(実施計画・収支計画の策定) ・地域資源調査・地域事業者の連携 ・ブランド戦略の策定	・事務局体制の構築(実施計画・収支計画の策定)を図る。 ・地域資源調査・地域事業者の連携による新たな観光商品(資源)の発掘 ・ブランド戦略の策定	(今後の展開方針) ・組織運営体制の強化・ネットワーク拡充 ・収益スキームの開発・検討 ・情報発信(SNS、イベント出展) ・県内外旅行会社との連携
1	⑦	八重岳観光拠点整備事業	H25～H28	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。	排水設計等の実施 L= 4,000m	排水設計等の実施 L= 4,000m	(今後の展開方針) H26年度:八重岳入口河川の親水護岸及び排水路整備 H27年度～H29年度:法面崩壊防止のための排水路整備
1	⑧	山里山百合増殖普及事業	H25～H27	在来種の山百合(鉄砲百合)を観光資源として活用した地域活性化を図るため、本部町の山里地域に多く自生している山百合の増殖・補植を行い、同地域を山百合で溢れる地域にする。	自生山百合の増殖:20,000株 山里地区でのイベント(山百合祭など)の開催(1回)	イベント実施による観客数:300人 自生山百合の増殖:20,000株	(今後の展開方針) 自生山百合の増殖(累計) H27年度:60,000株
1	⑨	伝統興行観光化事業	H25～H28	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。あわせて観光客へも広く伝統興行が鑑賞できる環境を整備し、観光資源化を促進させることで、伝統興行の担い手の経営安定化につなげていく。	伝統興行の実施:3回	伝統興行の実施による観客数(累計):1,500人	(今後の展開方針) 伝統興行の実施(累計) H28年度:15回
1	⑩	本部町2大まつり事業	H25～H28	本部町の2大まつりである海洋まつりと桜まつりを充実させ、本部町の魅力を観光客に周知し観光産業の活性化を図る。	2大まつりの実施 ・海洋祭り 8月 ・桜祭り 1月	2大まつり来訪者数 ・海洋祭り 10,000人 ・桜まつり 200,000人 過去の来訪者数 ・海洋まつり(H22度6,441名、H23度6,037名、H24度8,629名) ・桜まつり(H22度188,654人、H23度150,792人、H24度154,684人)	(今後の展開方針) エージェント等との連携を図り、県外からも多くの方が訪れるようなイベントを目指す。

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業概要			H25事業内容	H25活動目標(指標)		
パ	細						
1	①	備瀬観光集落整備事業	H25～H27	昔ながらの集落景観を保全しつつ、備瀬集落の観光資源として整備を行うことで地域の活性化を図る。	・観光集落基本構想・計画策定 ・フクギの剪定＝約 7,000本	・観光集落基本構想・計画策定 ・フクギの剪定＝約 7,000本	(今後の展開方針) ・組織運営体制の強化・ネットワーク拡充 ・収益スキームの開発・検討 ・県内外旅行会社との連携
2		本部町亜熱帯農業生産体制強化事業	H24～H28				
2	①	本部町キク拠点産地強化事業	H24～H26	本部町のキク栽培における現状は、栽培農家の高齢化による労働力不足や、新たな担い手の確保等が課題となっている。そこで、下葉とり、高さ揃え、重量選別、結束を同一機械で行う花き選別機の整備を図り、一連の出荷作業の機械化体系を確立することにより、品質及び生産性の向上、経営規模の拡大を進め、担い手農家の確保や、農家所得の向上を図る。	自動結束ロボット付重量選別機導入	自動結束ロボット付重量選別機導入数:6台 (内訳) 沖縄県農業協同組合:3台 沖縄県花卉園芸農業協同組合:3台	(今後の展開方針) 平成26年度に自動結束ロボット付重量選別機導入予定(6台)
2	②	園芸農業防災施設整備事業	H24～H25	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	ビニールハウスの整備件数:5件	ビニールハウスの整備件数:5件	(今後の展開方針) 農家選定後、順次施設整備を実施する。今後要望があれば事業の継続を検討する。
2	③	本部町有害鳥獣駆除対策事業	H24～H28	本部町における鳥獣による農林水産業等の被害については毎年のように発生しているため、捕獲箱による駆除及び銃器駆除を行う。また被害防止のための施策を総合的且つ、効果的に実施するため、みかん木へ網掛け防除を行う。	・カラス銃器による駆除の実施 ・カラス捕獲器による駆除の実施 ・タンカン木網掛けの設置	鳥獣駆除数 1,500羽	(今後の展開方針) 平成24年～28年度まで累計 (1,500羽*5年=7,500羽)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)	
事業番号	パ			細	H25事業内容			H25活動目標(指標)
2	④	もとぶ自産自消推進モデル構築事業	H24～H28	観光文化の町である本町は、観光客向けのホテルやレストラン、飲食店等を数多く有しているが、地元産食材のまとまった出荷組織がなく、個別の生産者単位では定期・定量出荷が困難であるため、地元産の食材はほとんど活用されていない。地元で生産されたものを地元で消費する『自産地消推進モデル』を構築し、年間300万人が訪れる本町の観光業と農業をリンクさせることで地域経済の活性化につなげる。	・生産者直売所を核とした集出荷体制の構築 ・商業地や中山間部、離島地域など様々な地域・地形に散在している生産現場や飲食店等を効率的に周回する移動集荷・販売モデルの実証 ・栽培規模が小さく、一般には流通していない沖縄伝統の島ヤサイの普及	・出品登録者数 : 40人 ・町内取引先数 : 20業者	(今後の展開方針) H28年度末 出品登録者数(累計) : 100人 町内取引先数 : 50業者	
2	⑤	もとぶピージャー産地確立推進事業	H25～H26	沖縄県内で消費されている山羊肉の約8割が輸入山羊肉であるという事実から、本事業により県内産の山羊を改良増殖することで地産地消を推進する。	山羊舎整備:2棟	・共同山羊舎整備(2棟)により、一括管理による出荷体制の構築 ・本部町山羊飼養頭数:450頭	(今後の展開方針) 平成26年度末 山羊舎整備:2棟 山羊出荷数:40頭 本部町山羊飼養頭数:550頭	
2	⑥	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25～H28	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶ牛ブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入に対する補助を行う。	優良母牛導入の支援	優良母牛導入頭数:20頭	(今後の展開方針) 平成26～29年度にかけて 各年度目標導入頭数:20頭	
3		もとぶのマーサムン・ミジラシムンづくり支援事業	H25～H28	本部町の特産品を開発するため、本部町内の企業等に開発を委託し、より多くの特産品をつくりあげる。また、開発した特産品を紹介し、開発後の販売促進、町のPRを行う。なお、開発した特産品については、その製法・仕様を本部町内の企業等に無償で提供す	特産品の開発:5品 開発した特産品の広告・宣伝	特産品の開発:5品 開発した特産品の広告・宣伝	(今後の展開方針) 開発した商品は、産業まつりなどでPRし、本部町ブランドとして確立する	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業内容			H25事業内容	H25活動目標(指標)		
パ	細						
4		本部町文化拡充事業	H24～H29	/		/	
4	①	音楽のまちづくり事業	H24～H28	琉球古典音楽、沖縄民謡、クラシック、ポップスなど、ジャンル枠を超えて多数の音楽家を輩出している本町を「音楽のまち」としてイメージを確立し、様々なジャンルの音楽イベントを開催しまちの活性化につなげる。また音楽の持つ感動体験は児童生徒にとってかけがえのない体験であり、この体験を通して豊かな感性を育む。	音楽イベント等開催7回	音楽イベント来場者数 300人	(今後の展開方針) イベント等動員数単年度累計 H28年度 1,250人
4	②	モトブンチュ人材育成事業	H25～H29	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	全町民を対象とした三線、琉舞教室等の伝統文化教室、町内イベントでの体験型プレイショップの提供を行い、伝統文化継承事業を展開する。 ・伝統文化継承教室開催：三線・琉舞 等180回 ・町内イベントでの体験型プレイショップ開催：3回	・伝統文化継承教室への参加者数：2,400人 ・町内イベントでの体験型プレイショップへの参加者数：600人	(今後の展開方針) H25～H29延利用者数 15,000人
5		赤土流出防止検討調査事業	H24～H28	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている、海洋への土壌流出について、本町内での発生源調査や、その発生源に対する土壌面の被覆、ほ場等周辺へのグリーンベルトの植栽配置及び排水路でのフィルター材の設置など、流出面から河川へ至る線への対策を実施することで赤土の流出抑制を図る。	現地調査事業：満名川支線流域：1流域 流出対策工事：大小堀川流域：3箇所 グリーンベルト植栽事業：3箇所	現地調査事業：満名川支線流域：1流域 流出対策工事：大小堀川流域：3箇所 グリーンベルト植栽事業：3箇所	(今後の展開方針) 現地調査実施流域で順次、流出対策工事、グリーンベルト植栽事業を実施する
6		本部町低地環境整備事業	H25～H28	本部町の地勢は全面が海で囲まれ、背後の山間に挟まれた狭い平地に自治を形成している。大型の台風時には高潮による床上浸水等が発生しているため、地域住民及び観光客の安心・安全を図るためにも、低地部の排水計画及び施設整備を行う。	・流末排水予定箇所の地質調査 ・満名川背後地における既設排水の平面及び縦・横断測量 ・既存排水システムの整理・末端排水計画及び断面・施設決定の設計	浸水対策計画等の実施 A= 155,000 m ²	(今後の展開方針) 浸水被害対策資料作成 一式 排水機場予備設計 一式

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業概要			H25事業内容	H25活動目標(指標)		
パ	細						
7		上本部飛行場跡地利用推進事業	H25	<p>本事業は返還から44年間、計画的に利用されることなく放置され続けた上本部飛行場跡地の計画的利用を推進することを目的としており、農業振興及び観光振興を連携させた地域活性化策を同跡地で展開するために、跡地内において地域活性化に資する施設の整備促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路網計画の策定 ・農産加工施設の建設補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路網計画の策定 ・跡地の利用率1.9%(6,000㎡/314,923㎡) 	<p>(今後の展開方針) H26 町道概略設計一式 H27以降 町道整備</p>

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。